



取扱説明書

エアーキャリー®

ATC-99T ITEM No.881211

ATC-150T ITEM No.881212



⚠ 警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

- はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。

この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 使用目的

本製品は、軽自動車・普通乗用車のタイヤの空気圧調整用可搬式エアインフレーターです。タンク内に充気し、本体を車の所まで持運んで作業できます。操作も簡単で、誰にでもタイヤの空気圧調整作業が行えます。タンクへの充気は、付属のスタンドにセットしておくだけで自動的に補充されます。設置のための特別な工事也不要です。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えらるる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性がありますを示しています。



注意 : この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、及び物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

警告



- 本製品は測定機器です。乱暴に扱ったり、車両などにぶついたりしないでください。衝撃により正しい空気圧の測定が行えなくなる場合があります。また、タンクが破損するとタンク内のエアの吹出しや構成部品その他の飛散によって思わぬケガにつながり、大変危険です。



- 本製品を分解・改造すると、製品の作動不良や充填精度への悪影響を与える恐れがあります。その結果、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。



- 人に向けてエアを放出しないでください。



- リリーフ弁は安全のために絶対にいじらないでください。(リリーフ弁は工場検査時に 950~1000kPa に調圧されて出荷されています。)






- 本製品の廃棄時、タンク内のエアが入ったまま廃棄しないでください。

















- 供給エアは必ずエアフィルタやドライヤを介した清浄なエアを供給してください。エアにゴミや水分が含まれている場合、製品の作動不良や充填精度への悪影響を与える恐れがあります。その結果、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。

警告











-  - 本製品を使用する前に、必ずタイヤに劣化や損傷がないことを確認してください。正しい設定圧での充気の場合でも、タイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 本製品を使用する前に、必ず車両に貼られている車両指定空気圧（タイヤの空気圧）ラベルの値を確認し、正しい空気圧を充気してください。
-  - タイヤに充気する際は、エア漏れがないようにタイヤチャックをタイヤのエアバルブへ正しく押当ててください。また、タイヤ圧が正しく測定できていることを確認してください。エア漏れの状態で充気すると、正確な空気圧で充気できずに設定した圧力以上に充気される場合があります。過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。

注意

-  - 本製品は、普通自動車及び軽自動車用であるため、大型車や車両以外の用途で使用しないでください。早期故障の原因になります。
-  - スタンドにエアーカーリー本体を過度に押付けないでください。バルブ部にあるパッキンの損傷によりエア漏れやタンク内へのエア供給不可などの恐れがあります。
-  - タイヤバルブへの接続中にホースを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。タイヤチャックなどの破損の原因となります。
-  - コイルチューブは無理に曲げないでください。潰れまたは折れの原因となります。
-  - 直射日光が当たらない、水平な場所に設置してください。また、本製品は使用者の邪魔にならない場所に設置してください。
-  - 本製品は防雨仕様ではありません。雨水がかからない場所に設置してください。
-  - 真夏の暑い条件下では、金属部品が高温となっている場合があります。取扱時に注意してください。
-  - スタンドに供給するエアは、必ず 1000kPa 未満のエアを使用してください。ご使用のコンプレッサーが 1000kPa (1MPa) 以上の圧力を発生する場合には、必ずエアレギュレーターで 1000kPa 未満の圧力に減圧してご使用ください。リリース弁が 950~1000kPa にてリリースするため、エアの消費に繋がるほか、リリースする排気音が常時するため故障と間違えることがあります。
-  - フックからインフレーターガンを取り出す場合または収納する場合には、フックと接触してケガをしないよう注意してください。
-  - エアーカーリー本体を持運ぶ際には、インフレーターガンがフックから外れないように注意してください。
-  - エアーカーリー本体に貼付けている取扱表示ラベル (791654) に汚れや破損が見られた場合、交換してください。
-  - ドレンバルブを緩める際には、よく注意しながらゆっくりと緩めてください。必要以上に緩めてしまった場合、ドレンやエアが一気に噴出したりドレンバルブが内圧で飛んだりすると、ケガをする恐れがあります。
-  - インフレーターガンの交換時はドレンバルブの操作によりタンクの内圧を除去した後、作業してください。
-  - 長時間使用しない場合は、エアの供給を止めておいてください。またタンクのドレンバルブを開いてタンク内エアも解放してください。

インフレーターガンに関して

注意

-  - 落としたり、乱雑に取扱うなどして衝撃が加わると圧力計の精度が狂い、正しい充気ができなくなります。過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。衝撃などにより圧力計の精度が狂った恐れがある場合、使用を直ちにやめ、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へ圧力計の校正を依頼してください。
-  - インフレーターガンのレバーを強く握った際に異常な漏れが見られる場合には正しい充気ができなくなる恐れがあります。使用を直ちにやめ、お買い上げの販売店または裏面記載のお問い合わせ先へ点検またはインフレーターガンの交換を依頼してください。
-  - 圧力計の調整ネジは絶対に回さないでください。圧力計の精度が狂い、正しい充気ができなくなります。過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 圧力計の目盛盤用アクリルカバーが破損した場合、使用を直ちにやめ、お買い上げの販売店または裏面記載のお問い合わせ先へ交換を依頼してください。
-  - 圧力計の清掃に溶剤は使用しないでください。
-  - 子供に使用させないでください。誤使用などにより、インフレーターガンの破損や充気中では過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - エア供給は小刻みに圧力を確認しながら行ってください。過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 亀裂、破損がないか使用ごとに点検してください。破損したまま使用するとホースが破裂や暴れ、圧力計の精度が狂うなどにより正しい充気ができなくなります。過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - インフレーターガンは防雨仕様ではありません。雨水がかからないよう注意してください。
-  - インフレーターガンの操作時、レバーとの間に手や指を挟まないよう注意してください。

<ポスターに関して>

本製品を正しく取扱っていただくため、ポスターデザイン（データ）を用意しております。必要に応じて印刷頂き、作業者が見える位置に貼ってください。

データにつきましては、下記弊社WEBサイトよりダウンロードしてください。

<https://www.yamadacorp.co.jp/products/a2-b02/a2-b2-c03/-atc-99t150t.html>

右の二次元コードを読み取り、アクセスすることも可能です。



目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部名称	1
1.2 梱包内容	1
2. 使用前の準備	2
2.1 インフレーターガンの収納	2
2.2 エアーキャリーへのエア供給	2
3. 使用方法	3
4. 保守・点検	
4.1 保守	5
4.2 トラブルシューティング	6
4.3 消耗品一覧	6
5. 組立図・パーツリスト	7
6. 主要諸元	
6.1 仕様	9
6.2 外観寸法	9
7. 製品保証登録シート	10
8. 保証規定	11

1. 各部の名称

1.1 各部名称



1.2 梱包内容

梱包内容は下記のものが付属されています。
 開梱後、直ちに輸送中の損傷がないか及び付属品の欠品がないか確認してください。
 また、締結部及び配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増締めを行ってください。
 なお、スタンド組立の上部（供給バルブ付近）には、輸送時の保護として保護材が取付けられています。
 製品使用時には不要ですので、取外してください。

スタンド	ATC-99T :853744	1 式
	ATC-150T :853746	
エアーカーリー本体	ATC-99T :855178	1 式
	ATC-150T :855179	
取扱説明書（本書）		1 部

2. 使用前の準備

警告



- リリーフ弁は安全のために絶対にいじらないでください。(リリーフ弁は工場検査時に 950~1000kPa に調圧されて出荷されています。)



- 供給エアは必ずエアフィルタやドライヤを介した清浄なエアを供給願います。エアにゴミや水分が含まれている場合、製品の作動不良や充填精度への悪影響を与える恐れがあります。その結果、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。

注意



- 直射日光が当たらない、水平な場所に設置してください。また本製品は使用者の邪魔にならない場所に設置してください。



- 本製品は防雨仕様ではありません。雨水がかからない場所に設置してください。



- スタンドに供給するエアは、必ず 1000kPa 未満のエアを使用してください。ご使用のコンプレッサーが 1000kPa (1MPa) 以上の圧力を発生する場合には、必ずエアレギュレーターで 1000kPa 未満の圧力に減圧してご使用ください。リリーフ弁が 950~1000kPa にてリリーフするため、エアの消費につながるほかリリーフする排気音が常時するため故障と間違えることがあります。

2.1 インフレーターガンの収納

- 1) エアーキャリー本体のフックに、インフレーターガンにあるリングを引っ掛け、インフレーターガンを収納してください。(Fig.1)

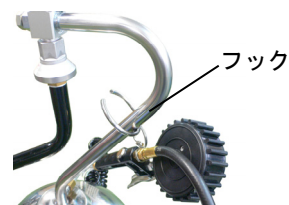


Fig. 1

2.2 エアーキャリーへのエア供給

- 1) 通常作業が邪魔にならず、雨水もかからない平坦な場所にスタンドを設置してください。
- 2) 1000kPa 未満のエアをスタンド部のエア供給口に接続してください。(Fig.2)
※PS タイプのエアチャックを別途ご用意ください。



Fig. 2






- 3) スタンドにエアーキャリー本体をセットしてください。自動的にエアの供給が開始されます。(Fig.3)










Fig. 3

3. 使用方法

警告








-  - 本製品は測定機器です。乱暴に扱ったり、車両などにぶついたりしないでください。衝撃により正しい空気圧の測定が行えなくなる場合があります。また、タンクが破損するとタンク内のエアの吹出しや構成部品その他の飛散によって思わぬケガにつながり、大変危険です。
-  - 人に向けてエアを放出しないでください。
-  - 本製品を使用する前に、必ずタイヤに劣化や損傷がないことを確認してください。正しい設定圧での充気の場合でも、タイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 本製品を使用する前に、必ず車両に貼られている車両指定空気圧（タイヤの空気圧）ラベルの値を確認し、正しい空気圧を充気してください。
-  - タイヤに充気する際は、エア漏れがないようにタイヤチャックをタイヤのエアバルブへ正しく押当ててください。また、タイヤ圧が正しく測定できていることを確認してください。エア漏れの状態で充気すると、正確な空気圧で充気できずに設定した圧力以上に充気される場合があります、過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。

注意

-  - 本製品は、普通自動車及び軽自動車用であるため、大型車や車両以外の用途で使用しないでください。早期故障の原因となります。
-  - スタンドにエアーキャリア本体を過度に押付けないでください。バルブ部にあるパッキンの損傷によりエア漏れやタンク内へのエア供給不可などの恐れがあります。
-  - タイヤバルブへの接続中にホースを無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。タイヤチャックなどの破損の原因となります。
-  - コイルチューブは無理に曲げないでください。潰れ・折れの原因となります。
-  - 真夏の暑い条件下では、金属部品が高温となっている場合があります。取扱時に注意してください。
-  - フックからインフレーターガンを取り出すまたは収納する場合には、フックと接触してケガをしないよう注意してください。
-  - エアーキャリア本体を持運ぶ際には、インフレーターガンがフックから外れないように注意してください。

インフレーターガンに関して

⚠ 注意

-  - 子供に使用させないでください。誤使用などにより、インフレーターガンの破損や充気中では過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - エア供給は小刻みに圧力を確認しながら行ってください。過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 亀裂、破損がないか使用ごとに点検してください。破損したまま使用するとホースの破裂や暴れ、圧力計の精度が狂うなどにより正しいエア充填ができなくなります。過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。
-  - 落としたり、乱雑に取扱うなどして衝撃が加わると圧力計の精度が狂い、正しい充気ができなくなります。過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。衝撃などにより圧力計の精度が狂った恐れがある場合、使用を直ちにやめ、お買い上げの販売店または裏面記載のお問い合わせ先へ圧力計の校正を依頼してください。
-  - インフレーターガンの操作時、レバーとの間に手や指を挟まないよう注意してください。
-  - インフレーターガンのレバーを強く握った際に異常な漏れが見られる場合には正しい充気ができなくなる恐れがあります。使用を直ちにやめ、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へ点検または部品交換を依頼してください。
-  - 圧力計の目盛盤用アクリルカバーが破損した場合、使用を直ちにやめ、お買い上げの販売店または裏面記載のお問い合わせ先へ交換を依頼してください。

- 1) 車輻に貼られている車両指定空気圧（タイヤの空気圧）ラベルの値を確認してください。
- 2) エアキャリー本体の取っ手部を持ち、作業する車両のタイヤの近くまで持運んでください。
- 3) エアキャリー本体に引っ掛けられているインフレーターガンを取り出してください。
- 4) タイヤチャックをタイヤバルブに対して真っ直ぐ確実に押当ててください。このとき、圧力計の数値はこの時点でのタイヤの空気圧を指示しています。（Fig.4）
- 5) 圧力計の数値が適正のタイヤ圧ではない場合、次の要領にてタイヤの空気圧を調整してください。（Fig.5）



Fig. 4

空気圧が不足の場合：レバーを強く握り（レバー位置③）、充気してください。（Fig.5）

空気圧が過剰な場合：レバーを弱く握り（レバー位置②）、減圧してください。（Fig.5）

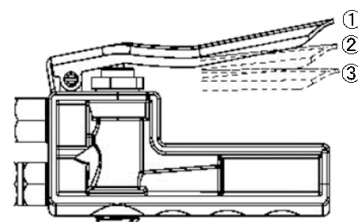


Fig. 5

タイヤの空気圧確認：レバーの握りを離してください。（レバー位置①）（Fig.5）

※タイヤの空気圧は充気中や減圧中には表示されず、レバーを離した時点で表示されます。
従って、レバー操作は小刻みに行き、圧力を確認しながら行ってください。

- 6) タイヤへの充気中に充気速度が遅くなった場合にはエアキャリー本体上部の「エア圧力計」を確認し、タンク内のエア圧が不足しているときは、スタンドにエアキャリー本体を再びセットし、エアを補充してください。
- 7) 使用後は、インフレーターガンをエアキャリー本体に引っ掛けて収納し、スタンドにセットしてください。（常に補充の状態にしておいてください。）

4. 保守・点検

⚠ 警告



- リリーフ弁は安全のために絶対にいじらないでください。(リリーフ弁は工場検査時に 950~1000kPa に調圧されて出荷しています。)

⚠ 注意



- エアーキャリー本体に貼付けている取扱表示ラベル (791654) に汚れや破損が見られた場合、交換してください。



- ドレンバルブを緩める際には、よく注意しながらゆっくりと緩めてください。必要以上に緩めてしまった場合、ドレンやエアが一気に噴出したりドレンバルブが内圧で飛んだりすると、ケガをする恐れがあります。



- インフレーターガンの交換時は、ドレンバルブの操作によりタンクの内圧を除去した後、作業してください。

インフレーターガンに関して

⚠ 注意



- 圧力計の清掃に溶剤は使用しないでください。



- 亀裂、破損がないか使用ごとに点検してください。破損したまま使用するとホースが破裂や暴れ、圧力計の精度が狂うなどにより正しい充気ができなくなります。過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。



- 圧力計の調整ネジは絶対に回さないでください。圧力計の精度が狂い、正しい充気ができなくなりやす。過充填によりタイヤの破裂に至った場合に重大な事故の原因となります。

4.1 保守

<日常点検>

- ・ 各部に亀裂・破損が見られないか
- ・ インフレーターガンの指針において、ゼロ点にズレが見られないか
- ・ インフレーターガンの指針において、充気・排気時の動作で異常な動作は見られないか
- ・ インフレーターガンのレバーを強く握った際、タイヤチャック部から充気動作以外にレバー付近から異常な漏れが見られないか

<定期点検：月一回程度を目安>

- ・ ドレンバルブをゆっくり緩め、タンク内に溜まったドレンを抜いてください。終了後は、必ず確実に締めておいてください。(Fig.6)



4.2 トラブルシューティング

状況	点検項目	対策
タイヤチャックをタイヤバルブにセットしてもインフレーターガンの圧力計の指針が動かない	<ul style="list-style-type: none"> ・正しくセットされているか ・ホースや接続部に漏れはないか ・ホース・タイヤチャックの不良 ・圧力計が故障していないか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 正しく接続する ▶ 漏れ・緩みを点検して増締め ▶ ホース・タイヤチャックの交換 ▶ 点検またはインフレーターガンごと交換を依頼
インフレーターガンの圧力計において、指針の動きが普段と異なる（異常）	<ul style="list-style-type: none"> ・インフレーターガンのレバーを強く握った際、レバー付近から異常な漏れも見られるか ・圧力計が故障していないか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ガンの故障・寿命であるため、インフレーターガンごと交換を依頼 ▶ 点検またはインフレーターガンごと交換を依頼
インフレーターガンの圧力計の指示値が明らかに異常である	<ul style="list-style-type: none"> ・圧力計が故障していないか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 点検または校正を依頼
タイヤチャックをセットし、インフレーターガンのレバーを強く握ってもタイヤの空気圧が増加しない（圧力計の指針が上がらない）	<ul style="list-style-type: none"> ・タンク内のエア不足 ・圧力計が故障していないか ・フィルターに詰りはしないか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スタンドにセットし、補充 ▶ 点検またはインフレーターガンごと交換を依頼 ▶ フィルターの清掃または交換を依頼
タイヤチャックをセットし、インフレーターガンのレバーを軽く握ってもタイヤの空気圧が減少しない（圧力計の指針が下がらない）	<ul style="list-style-type: none"> ・圧力計が故障していないか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 点検またはインフレーターガンごと交換を依頼
タンク内にエアが溜まらない	<ul style="list-style-type: none"> ・タンクのドレンバルブに緩みがないか ・スタンドのバルブが故障していないか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 点検 ▶ 修理を依頼
スタンドと本体の接続部からエアが漏れる	<ul style="list-style-type: none"> ・バルブ内部品の摩耗していないか ・スタンドが著しく傾いていないか 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 修理を依頼 ▶ 平らに調整

4.3 消耗品一覧

推奨交換時期は目安です。保証する期間ではありません。

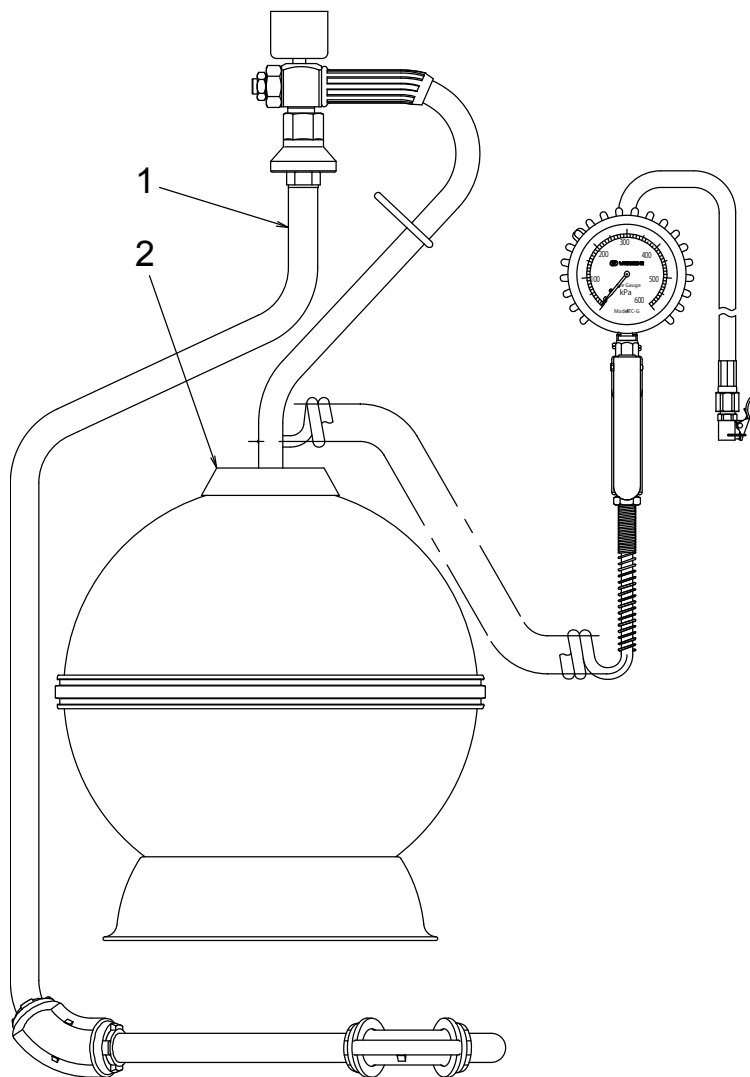
使用環境や使用条件、使用頻度により交換時期が早まる場合があります。特に直射日光の下では紫外線などによる影響で樹脂部品の早期劣化が想定されますので、点検時にご確認ください。

部品番号	部品名称	数量	推奨交換時期	備考
855178/855179 本体組立内				
708615	スプリング ※	1/台	約 10 年	リリースバルブ用
770941	バルブ ※	1/台	約 5 年	エアーキャリア本体へのエア供給用
770942	パッキン ※	1/台	約 5 年	エアーキャリア本体へのエア供給用
770946	パッキン	1/台	約 5 年	ドレンプラグ用
795057	バルブ ※	1/台	約 5 年	リリースバルブ用
772633	ガード	1/台	約 2 年	ATC-99T 用
772649	ガード	1/台	約 2 年	ATC-150T 用
772212	ウケザ	1/台	約 5 年	
695397	コイルチューブ	1/台	約 1 年	
684031	アツリョクケイ	1/台	約 3 年	タンク内空気圧用（タンク上部）
687023	インフレーターガン	1/台	約 2 年	
687023 インフレーターガン内				
687024	エアホース	1/台	約 1 年	タイヤチャック・Oリング付
687101	バルブクミタテ	1/台	約 2 年	
687102	フィルター	1/台	約 0.5 年	圧力計用（交換時期は使用環境により異なる）

※の部品は製品内部にある消耗品です。組立後にリリース圧の調整が必要なため、交換作業はお買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご依頼ください。

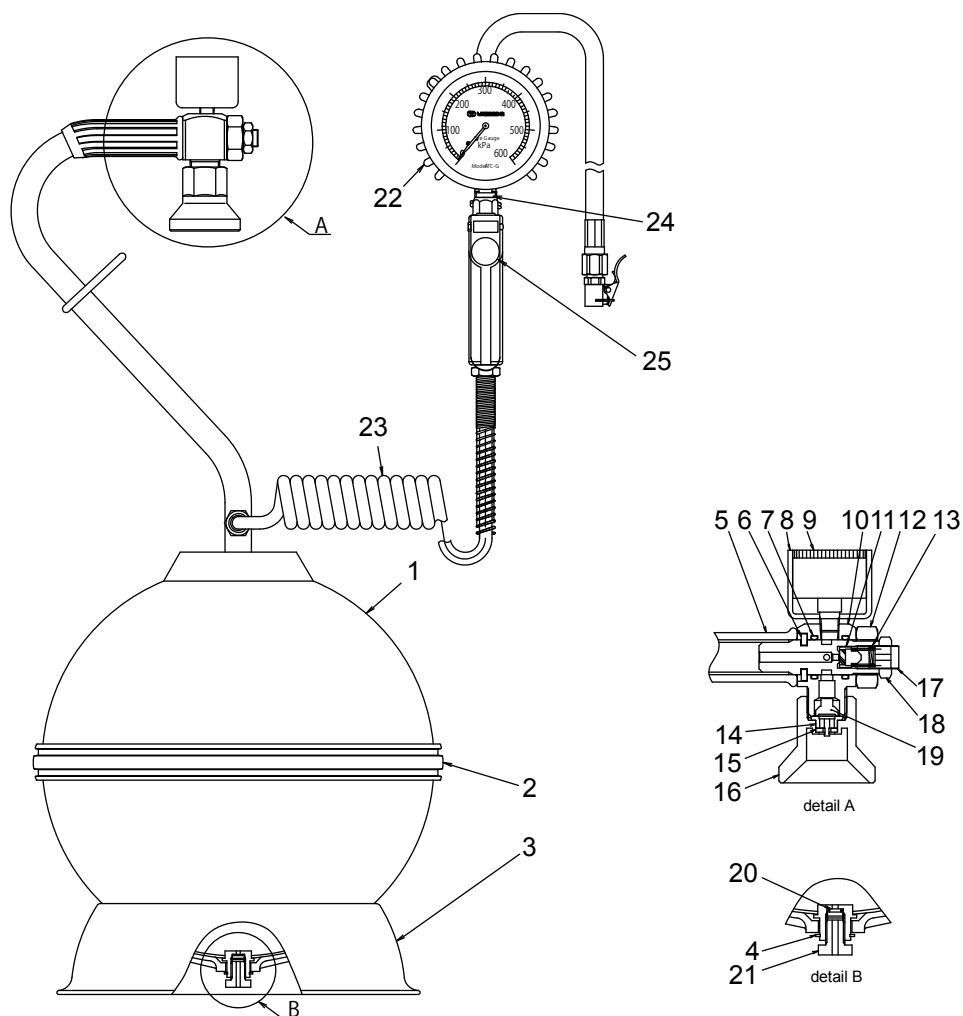
5. 組立図・パーツリスト

■881211(ATC-99T)、881212(ATC-150T) エアーキャリー組立



No.	部品番号		部品名称	員数
	ATC-99T	ATC-150T		
1	853744	853746	スタンド組立	1
2	855178	855179	本体組立	1

■855178(ATC-99T)、855179(ATC-150T) 本体組立



No.	部品番号		部品名称	員数	No.	部品番号		部品名称	員数
	ATC-99T	ATC-150T				ATC-99T	ATC-150T		
1	833215	833216	タンク組立	1	14	708616	←	バルブシート	1
2	772633	772649	ガード	1	15	770942	←	パッキン	1
3	772212	←	受け座	1	16	708617	←	ガイド	1
4	630691	←	C型止め輪	1	17	708586	←	調整ボルト	1
5	771278	←	ニギリ	1	18	627327	←	ナット	1
6	710060	←	スペーサー	2	19	770941	←	バルブ	1
7	640016	←	Oリング	2	20	770946	←	パッキン	1
8	771948	←	ガード	1	21	708592	←	ドレンバルブ	1
9	684031	←	圧力計	1	22	687023	←	インフレーターガン	1
10	712849	←	ジョイント	1	23	695397	←	コイルチューブ	1
11	795057	←	バルブ	1	24	687102	←	フィルター	1
12	627334	←	ナット	1	25	687101	←	バルブクミタテ	1
13	708615	←	スプリング	1					

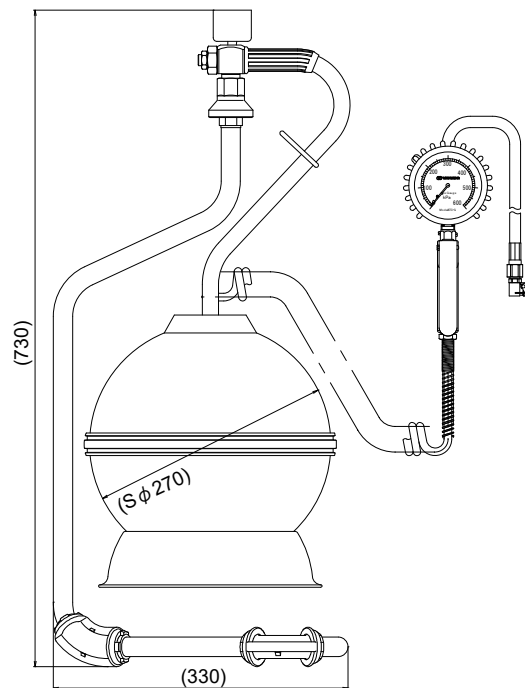
6. 主要諸元

6.1 仕様

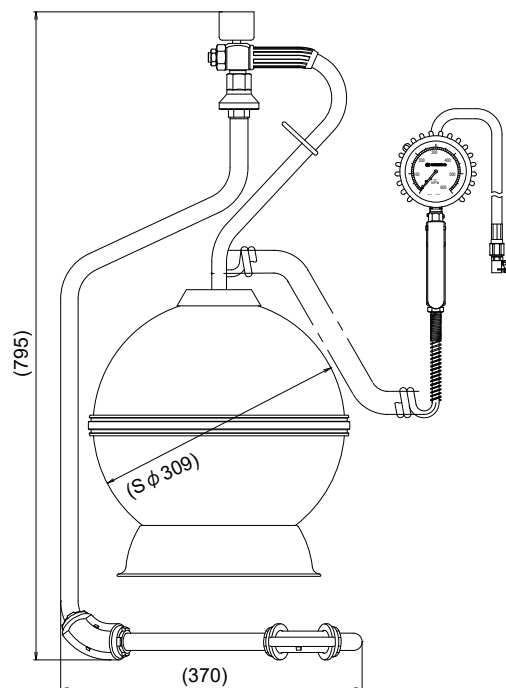
製品番号	型式	外観寸法	ゲージ目盛	タンク容量	質量
881211	ATC-99T	全高：730mm 全幅：330mm	0~600kPa 最小 10kPa	9.9L (ステンレス仕様)	本体：4.4kg スタンド：2.3kg
881212	ATC-150T	全高：795mm 全幅：370mm		15.0L (ステンレス仕様)	本体：5.0kg スタンド：2.5kg

6.2 外観寸法

6.2.1 ATC-99T



6.2.2 ATC-150T



7. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____																													
郵便番号 _____	ご所属 _____																													
フリガナ ご住所 _____ _____	ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																													
<p>■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報 は 当社の個人保護方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

8. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用されて生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適當な油脂を使用された場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202102.2528 AUT107U